

## 《第12回中国四国地方エイズ診療医師のための研修会募集要項》

### <一般目標>

エイズ診療の経験がない、あるいは少ない医師が、HIV感染者/AIDS患者の初期診療ができる、または慢性化した病態を評価し、合併症や性行為感染症のプライマリケアの対応ができる。

### <具体的な到達目標>

1. 日本におけるHIV感染者の疫学、HIV/AIDSの病態を説明できる。
2. 受診患者の病歴や身体所見からHIV感染症を疑い必要な検査を勧めることができる。
3. 主要な合併症とエイズ指標疾患の症状、診断、治療について説明できる。
4. 抗HIV療法を始める前に、治療の適応、抗HIV薬の種類、作用機序、副作用、薬剤耐性を説明できる。
5. 初回治療のレジメン選択など治療について専門医と連携することができる。
6. 看護師・薬剤師・臨床心理士・社会福祉士などの役割を理解し、チーム医療を実践できる。
7. 慢性疾患としてのHIV感染者の病態や問題を把握し、抗HIV療法継続中の患者の合併症や性行為感染症のプライマリケアの対応ができる。

### <概要>

上記の目標達成のため、少人数での講義、教材の配布、グループ学習、質疑と相互討論、ロールプレイ等を実施します。

### <対象者および募集人数>

中国四国地方エイズ拠点病院勤務医及び広島県内の開業医・勤務医・研修医など全ての医師を対象とします。診療科やエイズ診療の経験の有無を問いません。また2回目以降の参加も歓迎いたします。定員は25名程度です。

<開催日> 平成30年12月16日(日) 13:00~17:30

<研修場所> 広仁会館 中会議室  
※広島大学霞キャンパス内(〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3)

### <プログラム>

時間	内容
12:30~13:00	受付
13:00~13:10	開会の挨拶 (広島大学病院 エイズ医療対策室長 藤井 輝久)
13:10~14:10	講演①『HIV感染症の基礎知識、最近の話題』 講師：兵庫医科大学病院 徳川多津子 先生
14:10~14:20	休憩
14:20~15:10	ワークショップ『エイズ診療で遭遇する日和見疾患、性行為感染症の診断と治療』 ファシリテーター：広島大学病院 輸血部 山崎 尚也
15:10~15:40	講演②『HIV陽性者の抱える問題～ソーシャルワーカーより～』 講師：広島大学病院 エイズ医療対策室 精神保健福祉士 村上 英子
15:40~15:50	休憩
15:50~17:20	ロールプレイ『検査の勧め方と告知の仕方』 ファシリテーター：広島大学病院 エイズ医療対策室 臨床心理士 喜花 伸子
17:20~17:30	閉会の挨拶 (広島大学病院 エイズ医療対策室長 藤井 輝久)

<研修費用> 無料 <旅費> 参加者個人、あるいは派遣者側の負担といたします。

<後援> 広島県医師会

<その他> 日本医師会生涯教育認定単位 3.5 単位 予定  
日本エイズ学会認定「認定医・専門医」制度ポイント 5 点

<申し込み方法>

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は下記の住所に郵送にてお送りください。

**申込期限：平成 30 年 12 月 6 日（木）必着**

尚、申込者多数の場合は、事務局で調整させていただきます。

参加のご案内を広島大学病院エイズ医療対策室より各参加者宛に申込後 10 日以内にお知らせします。

通知が届かない場合はご連絡ください。

<問い合わせ先>

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院エイズ医療対策室 Tel.Fax 082-257-5581

担当：山崎 尚也、藤井 輝久、濱本 京子 E-mail: [kyokoko@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kyokoko@hiroshima-u.ac.jp) (事務局：濱本)

**FAX:082-257-5581**

広島大学病院輸血部長室  
藤井輝久・山崎尚也 宛

**参加申込書（FAX 送信表）**

「第 12 回中国四国地方エイズ診療医師のための研修会」  
平成 30 年 12 月 16 日（日）13：00～17：30 広仁会館

施設名 \_\_\_\_\_

郵便番号 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

ふりがな 御氏名	
御所属部署	
職名	
御連絡先（院内）	
メールアドレス	
HIV/AIDS 症例経験数	無 ・ 有（約 例） ※有の方は必ず経験数をお書き下さい。

◆ 2 人目からは、こちらの用紙を複写してご使用ください。